



○さぎ草祭に

十月八日（土）、秋晴れに恵まれた岐阜女子大学キャンパスで、学園祭「さぎ草祭」が開催された。人出も多く、三十店ほどが出店。笠松からは昨年

続き、NPO法人元氣そがわと道徳のまち笠松が連携し、一店舗を出店。笠松地産品の一部を紹介し即売した。県立加茂農林高等学校や関JC「関宝物発見」も出店され、軒を並べた。

○地産品の数々販売！

わが店舗のテント両側にはNPO法人元氣そがわの「湊町浪漫」と「かさまつ道徳のまち」ののぼり。店舗前面の台には、道徳のまち紹介パネル、パカパカだんご紹介パネルを立てかけた。オレンジ色の布を敷いた販売台に



○なぜ道徳のまち笠松で？

道徳のまち笠松では、あいさつのまち、きれいなまち、ささえ合うまちをめざした具体的な取り組みが推進会議を中心に進められている。こうした取り組みに加え、他地域との交流を推進することにより、心を育む取り組みが、町の活力を生み出し将来の町の発展につながると考えているからである。

○笠松を知るきっかけに！

持ち込んだ笠松地産品の、パカパカだんご（焼きだんご・だんごジュレ）、かさこうロール、蹄鉄クッキーを完売した。中学生、高校生、大学生のアイデアを生かした地産品への関心は高く、人生馬（じんせい）うまくいきますようにという蹄鉄クッキー紹介も好評であった。笠松の新しい動きをアピールできた。



岐阜女子大学「さぎ草祭」で「パカパカだんご」はじめ笠松地産品の販売